

たけうまファンド 2021年5月 月次報告書

運用状況ならびに運用担当者のひとりごとをひっそりとお届けします。

作成基準日：2021年5月31日

運用実績

運用成績

	1ヶ月	6ヵ月	1年	年初来	設定来
たけうまファンド	1.4%	-	-	5.7%	1210.4%

たけうまファンドの運用状況

時価総額	非開示
組み入れ銘柄数	35銘柄

資産配分比率	比率
国内株式	41.5%
海外株式	46.4%
優待株式	10.8%
現金（円・\$）	1.3%
合計	100.0%

組入上位10銘柄	比率
ServiceNow, Inc.	9.4%
ベネフィット・ワン	6.1%
CrowdStrike Holdings, Inc.	5.6%
MSCI Inc.	5.6%
Invesco QQQ Trust, Series 1	5.5%
ウルトラファブリックスHD	5.3%
シンメンテHD	5.2%
Align Technology, Inc.	4.9%
エラン	4.8%
ニトリ	4.6%

運用担当者のひとりごと

今月は珍しく、とても珍しく米国株が軟調で日本株の堅調が印象に残る月でした。実際パフォーマンスもその通りだったので間違っていないんですが、なんせ日次はメモするのをやめてしまっているし、指数もメモっていないので月末に締めるまでは印象しか頼りになるものがないのです。毎日メモすると資産の増減に動揺してしまう豆腐メンタルだとわかってしまったのでこれはもう仕方ないのです。

さて、今月は本決算が出揃う月でしたね。確かはずれはサービスナウ以外引かなかったはずです。そのサービスナウは無限に弱かったですね。日本株でも微妙だったところはあまり買われず、目立ってよかったところに結局買いが集まっていた印象なのでコロナ禍でも好決算で、ガイダンスも強気に打ち出せた今期業績に自信のある銘柄に買いが集まったということなんだと思います。持ち株で今月強かったのはベネフィット・ワンとエヌビディア。

取引としてはキュテラを決算通過後に売却。抛り所が日本のゼオスキン事業だったわけですが、米国本国でのワクチン接種進展に従い株価もあがってきてて失敗感が半端ないです。海外の内需のニッチ分野での個人消費の動きまでは観察できないのが海外株投資の難しさですね。その他QQQやALGNの買い増し、ニトリの新規買いを行いました。コテコテのアフコロは優待株がほとんどそうなので日米口座のポートフォリオはそれを差し引いた上で、アフコロ・ウィズコロで結構バランスよく配分をしています。日本もワクチン接種速度が急上昇してきましたが淡々と受け止め焦らず行く予定です。